臺灣日日新報　夕刊
二月二十六日

臺灣、朝鮮銀行の發券權を收納か
兩銀行には致命的影響
成否は藏相の意思一つ

【東京二十六日發】……兩銀行に對しては……

義務年限延長の促進運動を開始
帝國教育會が起って

已むを得ぬ手段
村井總領事が聲明

聯盟理事會廿六日から
佛國外相も初登場

エ國皇帝壽府へ
ロンドン御出發

佛銀行又も利下げ
五分を四分に

【パリ二十五日發】フランス銀行は二十五日公定歩合を五分より四分に引下げた

滿洲に大きな緬羊飼育會社
羊毛國策確立のため

北滿で牧畜業
松岡總裁が計畫

一躍五倍に增大
朝鮮の緬羊增殖計畫

急に强がり出す
我が對支政策後退と支那が誤認した結果
邦船射擊事件で嚴重抗議

我が國旗を海中に投棄
ダムダム彈も使用

一向やまぬソ軍の不法行爲
外務省に報告來る
滿洲國が嚴重抗議

議會の會期變更斷行に決す
議會振肅委員會で

情報委員會幹事長內定

米穀配給の調整を協議
委員會設置の件を可決

李交通部大臣が歸國

帝國を繞る
英、米、ソの海軍力
日本は異常の關心

【東京二十六日發】……

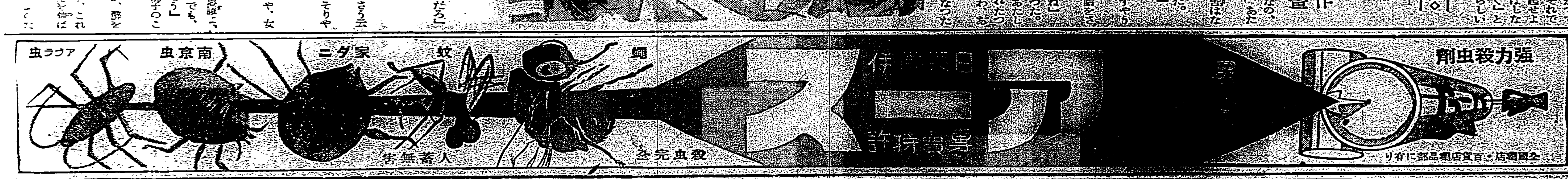
米國
英國
ソ聯邦

人事

一無絃琴

その日その日

戀愛市場 (32)
松波治郎 作
宮田彌太朗 畫



美と魅力の近代化粧料
クラブ

美代近く薄
明朗はつらつ
映畫スターの愛用品
五十錢

軍事上の秘密を某外國人に渡す

雜誌『海と空』の關係者 四十五名送局さる

全國的に百名檢擧 多くは年少の學生

【東京二十六日發】東京憲兵隊では麹町區内幸町一ノ四日比谷ビル内『海と空』社【社長光村俊行(三八)】編輯長[illegible]並に[illegible]外[illegible]部員等を檢擧すると共に同社の大阪、神戸、京都、和歌山、廣島、福岡、長崎、高松、新潟、千葉等の各支部に亙つて百餘名の檢擧を行ひ、各地憲兵隊並に分隊に於いて夫々取調中のところ、二十五日四十五名を軍機保護法違反要塞地帶法違反として夫々書類のみ送局した　同社は雜誌『海と空』を發行してゐるが讀者と本社との間に秘密通信グループを結成して座談會、懇談會等を開催し軍事上の秘密事項を探知蒐集して一部は某國人の手に渡つてゐた事を憲兵隊で探知し、全國的檢擧が行はれたものであるが、其の内の大部分は年少學生で之等には[illegible]し四十五名を送局したものである

全面的に教學刷新

教育調査會の緊急設置を 督府文教局が要求

[illegible]一昨の秋に至り文教局が本島の教學刷新を目指して實現を期してゐる重要な國策的要求は[illegible]に學生兒童の[illegible]の爲め島内に獨立した師範教育を新設する前提としての教員[illegible]の增員、南洋方面の小學校教員缺乏甚だしい現狀に鑑み島内より優秀教員派遣、及び來年度に於て約三萬人に激增すべき公學校入學志望者の可及的收容に要する國庫補助額の增額等が數へられるが、就中當局が最も緊急且つ重要なりとして要求してゐるのは教育調査會設置である、即ち現在本島の文教方面で權威ある調査會は僅かに教科書に關する部分的な調査會あるのみで之を文部省内に於ける各種の研究乃至立法的な調査會、若しくは同じく外地である朝鮮總督府内の教育調査會が既に十年前より設置活動しつつあるに比較すれば、問題山積の文教方面の事業遂行上此種の調査會は國策上から見て緊急設置を要すべきものなりとしてゐる、而して右教育調査會の内容は大體總務長官を會長に文教、財務、內務等關係各局長を委員とし、各部學官を幹事、學務、社會、編修三課長も夫々兼務する他、委員には特に内地及び島内の官民に亙り權威ある教育關係者を選擇し本島人に施行すべき義務教育問題を始め中等學校、大學高等學校問題、本島人の皇民化に對する學校教育、社會教育の檢討等の學制機構改革より引いては教育行政機關の改組等の文教全面に亙つての適宜なる審議調査を行ひ之に依つて憲ずれば押され勝ちの文教諸施設の強力なる實行機關となすものである

筆陣を張つて 評論家たち渡比

廿九日神戸發 臺北高雄を經由

【東京飛行便(國際)】メ[illegible]問題は其の後中央を刺戟した[illegible]メ[illegible]ダバオ代表松本勝司氏の奔走により日本より有力な言論機關が實際に現地を視察する事となり日本外事協會主催にて本月二十九日神戸出帆の商船しかご丸にて臺灣經由比律賓へ向ふ事となつた、一行は外事協會理事稻原勝治氏を團長とし改造社長山本實彥、中央公論社長嶋中雄作、文藝春秋專務佐々木茂索、日本評論主筆室伏高信、東日政治部八木[illegible]、中外政治部飯澤章治、都政治部古澤磯次郎、時事論說部西野[illegible]作、國際評論編輯長長谷川了の諸氏で、從來餘り例を見ぬ評論家の集合であり、何れも筆陣を張

牛乳から人造羊毛

日本が特許權購入か

【東京二十六日發】對滿蒙羊毛問題の聲しい折柄、牛乳から人造羊毛を取るといふ新發明が紹介された、發明者はイタリー人フエレチ氏で原料難に惱む祖國の爲め牛乳に含まるカセインから人絹を製造すると同樣な方法に依り纖維を抽出する事に成功し、既に同國の人絹會社シニア・ビスコザに於いて工業化され一日の生產額は十トンに達してゐる、生產費は羊毛の約三分の一、品質は羨[illegible]メリノー羊毛に匹敵する優良なものである、紹介者はマルセーユで指折りの邦人貿易商三戸部八氏で遂に祖國の羊毛問題を知り、他名者を熱心に說明した結果、外務省其他各方面に照會した結果、夫々專門的見地から研究が設けられ近く特許權の購入が實現されるものと觀られ早くも期待されてゐる、去る五月二日曾朝、外務省其この發明特許權の斡旋を得て杉村駐伊大使を通して外務省に報告し

所澤機さよなら

灼熱の太陽を銀翼に受けて けふ雄々しく歸還

二十五日屏東から臺北に飛來せる所澤陸軍飛行學校所屬偵察機五機は二十六日午前七時五十分[illegible]と强く灼熱の太陽を受けて松山飛行場離陸、[illegible]編隊で所澤[illegible]飛行の途に上り、所澤屏東間六千三百粁の長距離海洋飛行の往路に新鋭機の威力を遺憾なく發揮せる編隊は再び銀翼海を越えて復路武運の壯圖を遂して飛去つた

つてメ、バオ問題を檢討すると共にコンモンウエルス政府の將來を見極めんとするものである、同視察團は臺北、高雄を經由してマニラ、メ、バオに赴き更にパラオ、ヤップ、テニヤン、サイパン等裏南洋各島を經て八月四日横濱着の豫定である、又一方帝國議會からは、政友の大口喜六、民政の小山松壽氏等の大臣クラスの大物を加へた別口の比島視察團が[illegible]南洋經由でダバオに赴き臺灣經由で歸國する筈である、尙外事協會一行の日程は次の如くである

六月二十九日神戸發(しかご丸)七月四日基隆發、六日高雄發、十日マニラ着、十五日ダバオ着、二十三日ダバオ發

省境を死守

廣東軍の前線に 交戰準備を命ず

【廣東二十五日發同盟】陳濟棠氏は二十四、五兩日首腦部を招集する對中央軍事會議を開き最後的態度につき協議の結果、飽く迄省境を死守するに意見一致、直ちに前線に交戰準備を命令した

基中學級增加 當局に陳情 實行委員五氏が

[illegible]外港建設、各種企業の勃興期に入り益々發展を期すべき基隆市と共に十一年度に於て學級數五割、見込數八割二分の增加を示しつつある基隆中學校の學級增加問題に關し實行委員たる石坂荘作、宇田緊[illegible]世、何[illegible]、山ノ内小[illegible]二の五氏は二十六日打連れて臺北州中半地方課長を訪問、次いで督府森川文教局長、部長務課長を歷訪し學級增加に就き縷々陳情する所あつた

血の出るやうな 金を横取り

借金を拂つてやるとて 後家さんを悲嘆の中へ

數日前老松町一丁目堀口印刷所の要者が歎いて居るので[illegible]署[illegible]刑事が理由を尋ねると次の事情が分つた

本年始め夫に死別し、殘された千數百圓の借金を拂はんと知り合ひの男に賴んで印刷機械を某所で賣つて貰ひ、其の男が債權者で借金を四百圓に負けて貰へるやうに賴んでやるからと二回に亙り四百圓を要君から取つて先方にも渡さずそのまま着服して了つたもので、要君は二人の子供を抱へ、借金は減らず數にくれて居たもので

兩刑事はその男の跡を探查中二十五日午後同人が古亭町四六の老[illegible]に潛伏中を逮捕した、その男は内地で惡事を働き昭和九年逃れて臺灣に渡つた秋田市生れ前科一犯阿部孝一(三七)で

同人は某弁護士の事務員と稱し[illegible]の手口で[illegible]債權者の間にはいつて數回に亙り多額の金を橫領した外、ルンペンに[illegible]世話してやると稱して金品を詐取し

富豪を連行

たもので餘罪取調べ中

【新竹電話】臺中州大甲郡大甲分室主任[illegible]原警部は刑事二名を隨へ二十五日午後二時二十七分來新し直ちに新竹市北門一四三富豪鄭王氏夫、[illegible]氏兩名を新竹署に引致長時間に亙り取調べを行つた後大甲郡に連行した、事件の内容は石南名の富豪の[illegible]中州協議會員王[illegible]氏より[illegible]事件の告訴が提起されてゐるとの事で表面には相當複雜な事情が潛在してゐる模樣である

請願書成り

實業團體に發送

師團、鎭守府設置に就いて 返電を得て連署請願

臺北商工會では臺灣は現下の情勢に鑑み國防上及び產業上師團並に鎭守府の設置を以て急務と確信し各種實業團體に向つて之が實現運動を呼びかけたが、愈々その請願書の案文が出來上つたので昨年の全島實業大會に出席した各實業團體に之を發送し三十日までに返電を待つことになつた、臺北商工會ではこの返電を以て左記の請願書を七月一、二日頃督府代へ全島實業團體連署を以て左記各省大臣其他關係部當局に提出しこれが實現を圖ることになつた

臺灣に師團並鎭守府設置に付請願

我國現下の國際情勢は一に國力の充實國威の伸張に努め帝國の精神と正義人道を守護するため必然的に大陸に發展し海洋に進出せざるべからざる重大なる時期と確信仕候今や世界各國は軍備の擴張を行ひ國際商業貿易に於ては關稅障壁を設け移民其他問題に付ては苛酷なる制限を設くる等世界人道のため將又平和保持のため憂ふべき形勢を示しつつあるは誠に遺憾とする所に有之候謹而我臺灣は南支那大陸に接し南洋諸島を控へ其の實業に於て[illegible]方面の要地たるのみならず政府の南方發展の基地として重大なる使命を有するものと有之候殊に最近の南方國際情勢の變化に伴ひ我臺灣は北に支那大陸の排日抗日運動を控へ南にフイリツピン群島其他南洋諸島の防備を控へ其の背後には英、米、和蘭等の勢力恐るべきものあり而かも夫等の軍備は既に充實して虎視眈々たること疑ひを容れざる處に有之候更に我國の海外貿易の約半數は臺灣の南北を通過しつつありて臺灣は實に我國貿易上の生命線に有之南方發展の國策の上より見るも國防の充實は一日も忽諸にすべからざる緊急事と確信仕候

我臺灣の內外國際情勢並に產業上の重要性前述の如くに有之候に就ては臺灣に師團並に鎭守府を設置せられ文教地に鎭守府を設置せられ本島の治安並貿易の進展を擁護せられむことを切望して止まざる次第に有之候茲に全島實業團體の連署を以て其の實現を期し此段及請願候也

臺南タクシー代表 見舞金問題で陳情

臺南タクシー代表者[illegible]氏外數名は[illegible]臺南新市、[illegible]大甲間營業の局營バス南部線開設のため營業上なる損失を[illegible]二十六日午前十一時頃鐵道部に出頭渡部營業課長に面接して見舞金交付については何分の配慮ありたき旨陳情して退去した

嚴かに拔穂の儀

三角埔獻穀田にて執行

[illegible]二十五日午前[illegible]三角埔に設置された新嘗祭供御獻穀田の拔穂祭は二十六日午前十時より獻穀田傍式場に於て

拔穂使命[illegible]事、[illegible]督府[illegible]、林文教局長[illegible]、小濱内務、深川文教兩局長、二[illegible]内務部長、興業[illegible]課長、宇野[illegible]課長、大島[illegible]、臺北市尹代理赤木勸業課長、桑原基隆市尹、金子新莊、太田[illegible]山、河合七星の各郡守、民間より安田[illegible]、[illegible]大[illegible]、[illegible]等

[illegible]、許[illegible]貝、[illegible]等の諸氏[illegible]郡下[illegible]長、[illegible]學校長、[illegible]生徒[illegible]名參列[illegible]山口[illegible]と嚴かに執り行はれた[illegible]

[illegible]へ衣冠束帶も嚴々と參進、參列者一同所定の席に着く、式に莊嚴な修祓を以て始まり、夢拜の音靜かに流れて祭主降命を奉仕、莊嚴な奏樂裡に獻饌、祝詞を奏し御幣物を奉る、次いで拔穂使命[illegible]に奉じ[illegible]奏し、ここに嚴かに拔穂の儀は滯りなく行はれた[illegible]

(寫眞は拔穂祭)

あすの天氣

(臺北觀測所發表)

臺北地方　西の和風晴後曇雨
北部一區　南西の和風晴後曇雨
東部二區　南の和風晴後曇雨
西部三區　南西の和風晴後曇
南部三區　南西の和風晴後曇

概況(廿六日)七六二粍の高氣壓は小笠原島方面に滯留してゐます本島の天氣は殆んど晴の好天氣となつてゐます、近海に南より和風吹き波は穩かであります

潮汐(廿七日)

	前	後
基隆 滿潮	三・五〇	六・五五
基隆 干潮	一〇・四〇	一一・二五
淡水 滿潮	四・二五	[illegible]
淡水 干潮	一一・一九	[illegible]

各地溫度(六月廿六日午前十時)

[illegible]

臺日案内

內地土產 鳳梨と冷西瓜
寫眞 メイコーカメラ
時計眼鏡 メガネ專門は和田
メガネ 日光堂
料理屋 宴會大勉強
貴金屬 辨金本家
金銀細工は美工堂
藥種商
菓子商
月やく
アイスクリーム
アイスクリーム
アイスクリーム
アイスクリーム
アイスクリーム
雜件
コークス販賣
電話商品券
海水太村井
運命姓名判斷
運命判斷
電話
冷ビールと冷西瓜
佛具佛檀は
乳酸菌
バイオリン尺八
駐蚊液ペトロール

キユーピーマヨネーズ
不意の御來客に
毎日の御食膳に

コロムビアより發賣 ニツポノホン・レコード
7月
[illegible]

東京市衛生試驗所證明品
清酒 いさみ
總代理店 塙商會
販賣契約店募集中
特典有り 絶好の大チヤンス申込をこふ

大景氣! いよいよ部數大激增!
縁起のよい大雜誌
キング を御覽!!
商賣繁昌!!

鐵道 [illegible]
臺灣物產紹介所
京洋鐵道[illegible]

ランジ 洋髮香油

[illegible] 三 [illegible]

きものを 御召すなら 徳園

紙衣祖師(142)

吉川英治作 山村耕花畫

越路篇 蟬脫(四)

「どうぢや盛綱どの……いや光實御坊。生れ甦つた氣がするぢやらうが」

四、五日たつて、西佛は新しくここに加はつた佐々木三郎盛綱の光實にかう話しかけた。

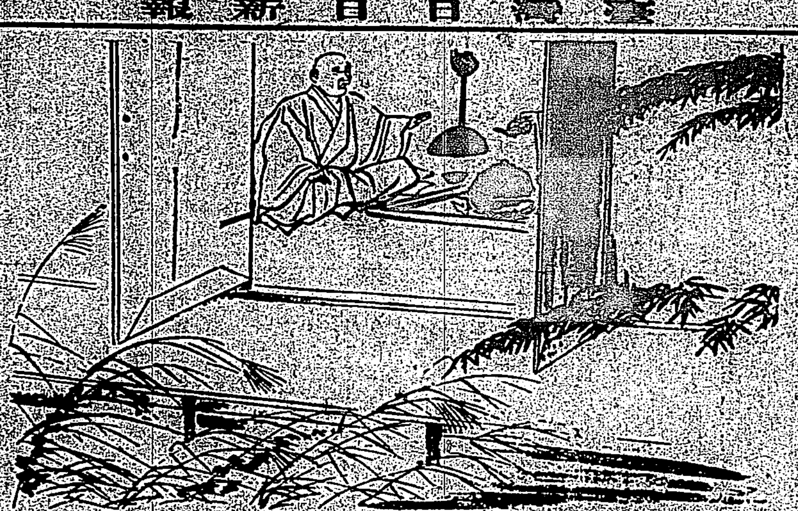
「ありがたい、ただありがたさで、今は胸がいつぱいだ」

と、光實は心から云つた。

「どうして今までおれは、あんな事に怒つたり悩んだりしてゐたのか、ふしぎでならない」

「そこが、俗世間だ。濁泥の中に住んでゐるうちは、濁泥から出る道もわからない」

「それはかりか、上人から聞かされる一語一語が、今まで、鎌倉の將軍家から貰つた武功の恩賞より身に沁みてうれしい。――鎌倉からおれに與へたものは、皆自己の頭[illegible]



[illegible]け前であり、自己の貧以外のでなかつた。――然るに上人[illegible]自身に求めるのではない、[illegible]のお胸に映るすべての者を、[illegible]しく倖せにしてもらうと[illegible]に、他意はない。――又この[illegible]の和やかな朝夕を見ても、今まで、あのやうに[illegible]睨んでも、枕を高くして眠[illegible]ない所領や城にかじりついて[illegible]で來たのかと、初めて、無明から出て來たやうに思ふ」

「おそいぞ、今頃、左樣な[illegible]に氣づいて、この西佛などは[illegible]」

と、西佛は自分が發心した[illegible]早さを、快活に自覺したか、

「ははは、それは、おぬし[illegible]の木首肉が早く亡び、おぬし[illegible]を武門に持たなかつたからでないか」

と、盛綱に反駁されて、

「や、いかにも、そのせいも[illegible]があるな。あははは」

と、哄笑した。

夜になると、

「[illegible]晴れぬうちは淋しかろ、田舍[illegible]でも温めようか」

と、西佛は[illegible]友に[illegible]あつた、盃を挾んで、初秋の夜[illegible]歡心をたのしみ、

「――母に、いつか話[illegible]思つてゐたが、御舍弟の四郎高綱どのは、近頃、どうしてゐるな?」

「さ……久しう會ひもせぬが、世上の沙汰では、やはりこの兄同樣に、快々として暮しますに暮してゐるらしい」

「備前兒島の城へ宛て、この春頃だつたか、手紙を出してみたが、何の便りも返つて來ぬ」

「あれの一徹にも困る。わるくすると、この兄とは逆に行つて、鎌倉どのへ、怨嗟の矢を引きかねぬ男でな」

「さ……さういふ噂を世間でちらと耳にしたので、實は一つの事でもあつてはと、昔なじみの誼みで、この西佛が筆を打ち割つて存分なこと諫めてやつたのだが……あの利かぬ氣の四郎高綱、手紙を見て立腹し、引き裂いてしまうたかも知れんな」

「――いや、烈しい一徹ではあるが、心の底には、情誼にふかい所[illegible]

わるい事を云ひ出したと西佛は軽く悔いた。弟思ひの光實は、うつ向いて、遠く弟四郎高綱の兒島の城を案じてゐるらしい。六十歳になつても、骨肉の情愛はすこしも幼少の時と變つてゐなかつた。

「……さ、寢まうたぞ。もう一杯過ごさぬか」

もう秋くさい秋風の戸を挾んで、戸外は雨かのやうな蟲の聲だつた。

公開欄

カトリツク教に對する不安

奄美子

◇キリスト教は新教、舊教を問はず日本精神と相容れられざる宗教であることが信徒の行動よりして疑惑を受けてゐる事は周知である

◇曾て九州の南端奄美大島に於て神社不參拜、スパイ嫌疑、不敬等の重大事件の際で同地より一掃されたカトリツク教の如きは信教自由の法の影に隱れて日本精神を滅さんとする邪教と思ふものである、同教の布教に使用する公教要理なるものの迷信と言ふ個所に明らかに神社不參拜を公言して居るのが見受けられる

◇最近又復沖繩で同教は問題を起しつつある由であるが、何を望んで全國的に見て人口稀薄な奄美大島及沖繩に根強く布教に從事するのか、果して同教宣教師は教義弘布が目的たらうか?奄美要塞の重要部落を信者を通して買收せんとして果さなかつたなどと聞かされて居る者は同教の目的に甚だ疑ひを抱くのである

◇試に名瀬の埠頭に立つて眞正面の山の中腹を見よ、何處の建物より一段高く存在する十字架の教會が見られる、南方の守り奄美で最も重大役割を持つ要塞港の内外監視に便利にして信者の祈禱所としては最も不便な土地を選びし眞の目的は那邊にあるのか、日本精神を滅さんとする結核菌の如く、或は背後より狙ふ狼の如きものでなければ幸ひと思ふのである

◇本島の如く特殊な地に於ける同教の存在は日本精神普及に國防上に甚だ不安を感じると共に、その究極の目的を考慮するとき戰慄を禁じ得ない。

▲本欄は讀者の自由論壇[illegible]中傷は不可▲行數は十五字六十行以内▲匿名可、住所氏名は明記

名家敗退將棋(七十八)

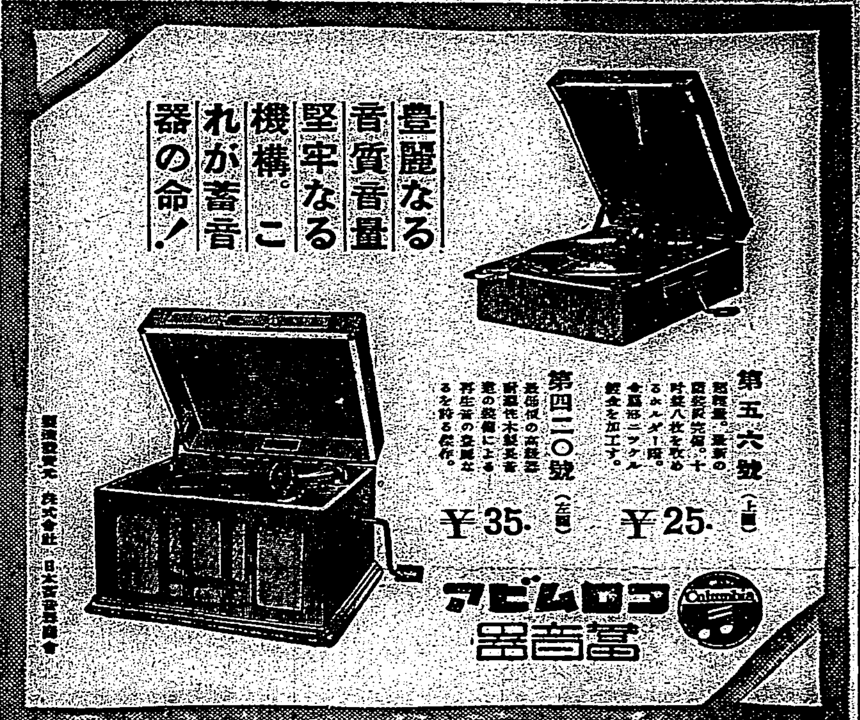
(建部氏三回勝四回目)

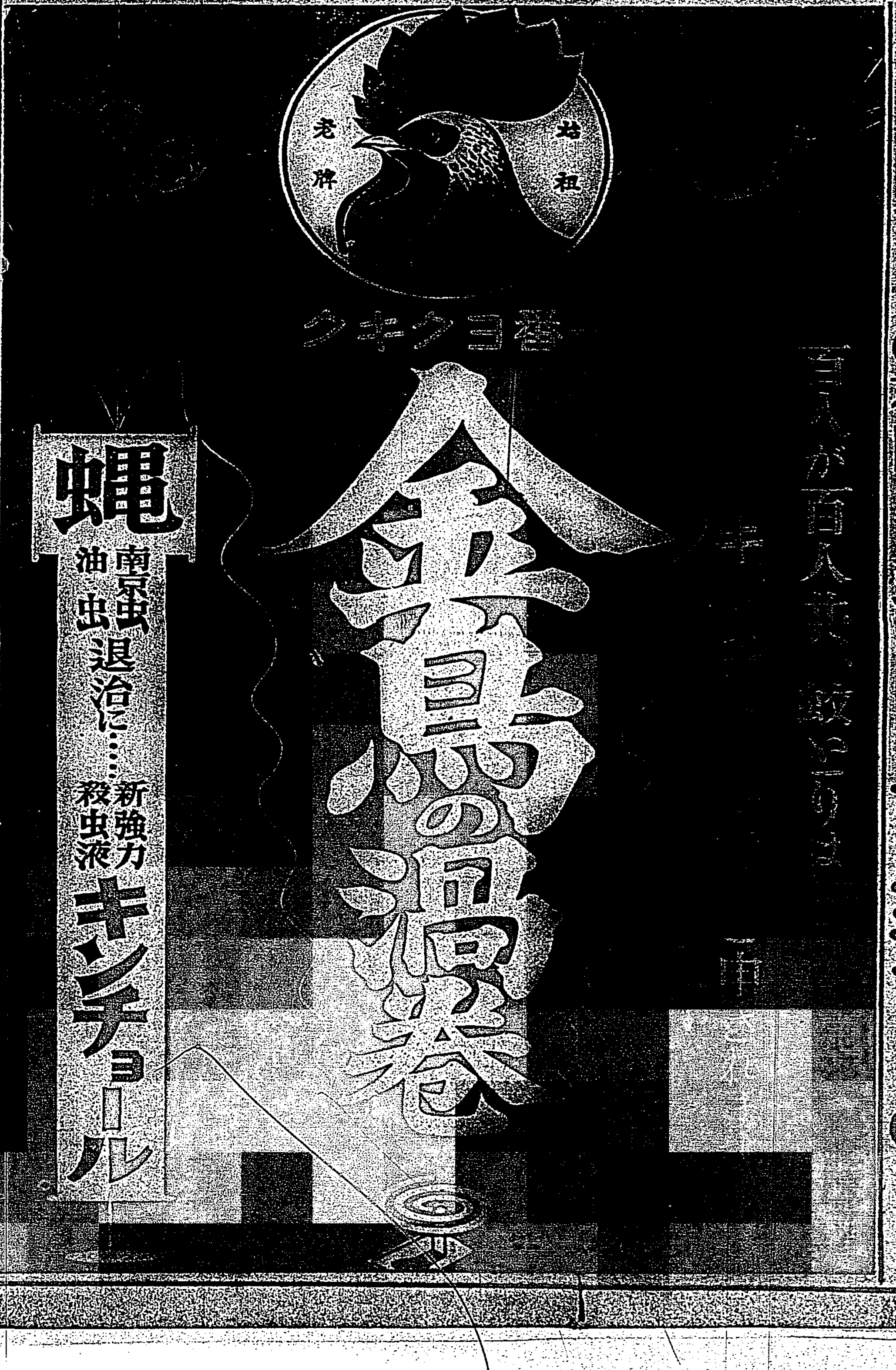
手番 六段 △塚田正夫
先 五段 ▲建部和歌夫

演藝

半島の舞姬 崔承喜來る

◉齒痛頭痛はカオガンに限る◉





籌設緬羊飼育會社
確立羊毛原料國策
嘗設二百萬日滿緬羊協會

東京二十六日電。政府乘滿洲問題機會。以原料國策之確立爲急務。官民協力。既向此大目的。積極進出。當面問題。在得羊毛資源。而於滿洲。設一大緬羊飼育會社。念興來來。多所制有。政府既於各關係方面。發出具體的詰問。此外爲滿洲緬羊飼育計。昭和九年。於新京設財團法人。以爲中心。嘗設二百萬圓之日滿緬羊協會。擬來會經檢討。結果知爲有望。然該協會因提出資助政府百萬圓。羊毛工業界七十萬圓。滿鐵二十萬圓。分十年間支出。顧其活動。大爲局限。今後亦擬求財閥。犧牲的支出。得一國策的大資本。民間方面。如此意見。亦漸提倡云。

匹敵滿洲產。紹介者。爲邦人貿易商笠戶者八氏。知緬國羊毛之難。得其發明特許權分權之承諾。經杉村駐意大使。報告外務省。去五月一日歸朝。歷訪外務省其他各省。說明結果。各官國策見地研究該特許權購入。近且實現云。

起用德人技師
北滿牧畜業
松岡總裁計畫

東京二十六日電。松岡滿鐵總裁。要興北滿牧畜業其第一著手。決定起用久在北海道。專事牧畜業之德人技師婁萬氏。使之主宰試驗的經營。擬投四五萬圓。於哈埠郊外。飼育滿洲家畜。婁氏訂二十六日。前往大連。成功之時。可爲滿鐵事業一大部門。將來十年計畫。資本弗萬圓云。

人造羊毛
邦人笠戶氏
獲特許權

東京二十六日發同盟。關對於關稅。羊毛問題甚爲之際。或紹介牛乳取人造羊毛之新發明。其發明爲意人華諾智氏。發見牛乳所含糊質力。製造人絹同樣方法取出纖維。今也該國人絹會社美士古查一日生產額千噸。生產費羊毛約三分一。其品質以

米穀配給
調整協議
決設委員會

東京二十六日發同盟。農林省。去二十五日午後三時。在米穀利用研究所。開米穀配給調整協議會第一部會。其議會前。先行交換意見如左。
一、販賣組合之米穀販賣方法。
二、爲調整販賣組合與商人之間。中央及地方。設委員會可否。
三、販賣組合米穀販賣方面之件。
四、販賣組合所辦米穀之數量。決定之可否。
委員會設置之點所關。共以設置爲可。其他尚未一致。同四時半散會云。

緬羊增殖
朝鮮計畫十年
移五十萬頭

京城二十六日電。對於通商擁護法發動。朝鮮緬羊政策。亦關重大。朝鮮總督府。乃自國策的見地。立緬羊增殖計。現在第一期。一躍欲增五倍。明年度以降。十年之間。鮮內移住五十萬頭。飼育地域決定全鮮各道。擴大而進云。

死守省境
準備交戰
粵軍首腦決意

廣東二十五日電。陳濟棠氏。去二十四、五兩日。

擱羅首腦部。開對中央軍事會議。協議最後的態度。結果共擬死守省境。直命前線。準備交戰云。

米蕉盛出
不能悉載

局鐵貨物。前月因天候不良。極度稀少。本月中旬以後。天候回復。忽呈活況。加遇出一個月之高雄州下芭蕉。及一期米。今方盛出。鐵道部雖竭力運載。而貨主猶叫苦。同部乃將基隆空車。驛至南部。中間驛逆日又廻送百車以上。二十五日屏東驛配米專用十五廳車四十車。每日運米五千三百廳。芭蕉貨三千廳。二十五日現在滯貨六千廳。鐵道部苦之。最近每日輸送總量一萬八千廳內外。雖不及繁忙期之三萬廳。而比繁忙期更開放。車輛多送於工場。能力減少三成。此狀態至來月上旬。或得解消。然中北部芭蕉輸送。鐵道部必更多忙也。

羅東郡下諸堤防
郡守發表治水工事
完成之日永遠免受水害

羅東郡三星方面一帶山場有豐富之林產物。又三星庄大埔及冬山庄柯子林。田園七、八百甲。每年一屆八、九月雨期。因小南澳溪。洪水氾濫。多被流失。爲講究對策。當局雖自數年前。有築鼻子頭堤防。及客年新築大埔堤防然下流方面之田園及住民難得受其保護。一面爲開拓三星之山場林產物。於廣興。柯子林間。因無架設人道橋。一但遇豪雨時則羅東。三星間方面。交通杜絕。依右記事情。該方面住民。年派有力者。赴當局。陳情堤防延長及橋梁架設。關于右記重要問題。而當局經已計畫之事項。去二十五日。由小野田羅東郡守發表如下。

卽關于小南澳溪右岸之鼻子頭堤防。延長連接五結堤防。而督府當局。亦認爲必要。擬本年八、九月頃。由濁水溪治水工事。施行堤防。又對面大埔堤防之一部分延長。本年中。由臺北州。亦著手工事。殘餘爲柯子林一帶之堤防四要築大經費。當局似有計畫以六個年間之計畫事業。欲完成前記堤防。又羅東。三星間之廣興橋。本年羅東郡。有要求臺北州。架設該橋之經費。計上于明年度豫算。得州土木課。十分贊成。並認爲必要。其額按十八萬圓。長四百七十米。幅七米。然連接該橋之州路。擬派

基隆煤煙防止
最後宣傳

基隆警察署。因煤煙防止迫在七月一日實施。恐市民有未徹底者。故欲爲最後之宣傳。決左記日程。開家長會。亦將援助其宣傳云。當日基隆同風會。

▲二十七日午前八時。眞砂町派出所管內（於海水浴場）午前九時。元町派出所管內（於中央劇場）同九時。旭町派出所管內（於新安館）午後二時。明治町派出所管內（岸壁倉庫待合所）午後一時。社寮町派出所管內（於國語講習所）。午後七時。日新町派出所管內（於日新小學校）。

▲二十八日午前九時。濱川町派出所管內（於保甲事務所）。午後一時。仙洞町派出所管內（於國語講習所）同一時。田寮町派出所管內（於頭家庭園）午後七時。西町派出所管內（於食公講堂）

爲一掃積米
臨時貨車
運輸引交米

高雄州下各地方米穀商。能輸送。乃對三菱。杉原商等移出商。交涉引延期展五日限。引交米約十萬袋不足貨車不足。對移出商二十四日。向鐵道部。自二十五日起經承認展期兩三日間。一時每日對高雄屏東間。臨時運轉貨物列車四往復傾力于滯貨一掃。按于數日中。輸送狀態回復。又此次貨車時刻混亂之主要原因。爲中部米及中部產芭蕉北送。比例年旺盛使然也。

中壢米穀
改善會總會

中壢米穀改善會總會。去二十五日午前三時。開于驛前米庫內。石吉田郡守林務課長。豐田勸業主任。久保米檢主任。森山街長。岡本州協。渡邊商工會長。森高銀支店長。黃副平鎭改善會長。暨諸組合員等列席。首由會組合長。開會敍禮。並就議長席。次黃副組合長報告十年度事業及收支決算。於是附議十一年度豫算等。決定將中壢米穀改善會。改稱爲中壢米穀商協會。次磋商登錄照合及製乾籾辨理法。並改選役員。全部重任。乃由組合長。對優良使用人。各授與賞狀及金一封。最後有吉田郡守訓示。四時半終了。再開懇親會云。

保甲民。出役改造。由是觀之。若本年度。施鼻子頭堤防。延長于五結堤防時。而羅東街之住民。永久的得免受水害云。

生意興旺。附近魚販。就之者紛紛。以致臺南魚市收入。大受打擊。出而抗議。求諸臺南警署。嚴爲取締。署中田司法主任。去二十七日召諸關係者至署究其違反市場取締規則之罪。諸股主。自知難得與抗。乃約於一星期內解散至二十五朝諸人共舉代表提出解散顚末書於該署當局。事遂解決。聞自該公司開辦後。僅日無幾。皆據云出資四萬五千餘圓。第查南市之漁業組合員。所有資本。須經由該組合。不然則案削統制。故此後。凡有市場類似行爲。均欲從嚴究云。

類似市場行爲
從嚴查究
解散泉町魚行

高雄州岡山郡湖內庄下茄萣。魚塭業林園。臺南市高砂町三丁目林德五。濱町一丁目吳春生。黃德子外六名。合股出資四千八百圓。自本年四月中旬。設立營魚行等於泉町。號源交魚業公司。設立後。

淡水街祖師
繞境誌盛

既報淡水街清水祖師繞境一節。經去二十四日舉行。煙火三發爲號。午後二時。由龍山寺口啓蹕。諸音樂陣頭詩意閣等之燦行者。不下數十團。鼓樂喧天。旌旗映日。蜿蜒作長蛇狀而音樂團中。有遠地參加者。如士林後港墘及四拔仔兩金獅團。步驟整然由米商團。各贈呈金牌一面。是日天氣晴和。遠近遊人如鯽。與高采烈。洵可謂地方迎神之盛況也。

北斗郡產米
改良座談會

北斗郡爲對產米改良之一法。於隣稻成熟後之收穫乾燥及調製改良。自昭和十年以來。雖有實施著手然對其普及。尚有不充分之處。故於本年度。對於適期收穫之勵行。及依賞乾法獎勵。破壯米之防止努力于色澤向上。欲賞郡下產米之改善及穿價之發揚。特於左記日程。於郡下各街庄。開產米改良座談會。郡係員。並田中北斗米穀商協會員。亦均赴其地列席云。六月二十二日田尾庄。二十三日北斗街。二十四日溪州庄。二十五日竹塘庄。二十六日埤頭庄。二十七日二林庄。二十九日大城庄。三十日沙山庄。時間皆自午前九時開始。

能高郡蕃人
獻銃九十挺

臺中州能高郡馬那加。內芬埔。及東埔二社蕃人。日前自內地觀光歸社。受能高郡警察課安達警部幹旋。決定獻出所匿銃器。去二十四日。在各駐在所由細井警務部長及山口理蕃課長臨席。舉行隱匿銃提供式。共約九十挺云。

東港農事組
創立總會

高雄州東港郡東港農事實行組合創立總會。日前開于同地神農宮。組員八十名出席。蔡進丁氏開會詞蔡有仁氏報告經過。次審議組合規約。滿場一致。可決原案。次議昭和十一年度豫算。並事業計畫。無異議可決原案。由是選舉役員。蔡有仁氏當選組合長。

基隆中學增級嘆願
代表者訪府州當局
當局頗同情校舍狹隘

既報基隆中學校。要級增加問題。去二十六日。吳顧代表者。石坂非作。山內小藤二。宇田祭。居川榮世。何鵬五氏。于午前八時。以自動車。由基隆出發。先訪問州廳。適值知事。內務部長。教育課長皆不在。乃訪地方課長開陳事情。並呈上嘆願書。興務課長。爲同樣之陳情大訪問深川文教局長。並呈嘆願書。聞當局亦頗同情於校舍之狹隘。而代表等。豫定另日。再訪知事。一行午前十一時餘歸基云。

續街。頒布防疫徹底宣傳單。數千張。一面監督各戶衣類及寢具等。受日光消毒。又小公學校教員。對生徒。亦有衞生之講演等云。

視察保育園

員林街新東西部落振興會所經營之季節保育園。由許會長以下保姆補助員等之努力。舉相當佳績。六月二十五日午後三時半頃突有鶴內務部長。倉本多地方係長。員林郡豐澤郡守。朝倉街長等。一行六名。齊到該園視察。聽取許會長種々報告。四時頃歸去。

汐止三小部落
合同祭典

七星郡汐止街石碇子姜子寮小坑三保。依年例迎保儀大夫。天上聖母繞境分爲五日。浪費不少。者番爲生活改良起見。日前集三小部落要人。在石碇子派出所內。會議結果衆議一致。改爲舊五月九日合同祭典云。

宜蘭街役場
防癩宣傳

宜蘭街役場。爲癩病豫防宣傳日。於去二十五日午前八時二十分起。招集警察官。役場吏員。壯丁團員等。約百餘名。役場吹鳴電音機爲號。樂隊當先

林獻堂氏
舌禍事件
決定糺彈作罷

既報林獻堂氏。爲舌禍事件。經辭去一切公職。故嘗中市民有志。決定停止糺彈。僅監視其將來之言動。因于二十五日午後七時。再集于市民館。開懇談會云。

臺東開發案
一部修正
減百五十萬圓

既報臺東總產業開發計畫。豪市大磐總長。携案出北與督府當局折衝。而移民計畫。及其他重要懸案。大體已得承認。惟堤防及被蔽施設。依督府方針。決定多少變更。故當初豫算九百萬圓。或將減少百五十萬圓。爲七百五十萬圓程度云。

定期總會
頭圍登瀛吟社
議辦州下聯吟

頭圍登瀛吟社。去二十三日午後一時。假信組樓上開定期總會。出席社員十八名。首由盧社長。述開會辭。游監務係。報告旣況。黃會計係。報告收支然後移入社務磋商。爲本年秋季。臺北州下聯吟大會輪値頭圍。討論結果。州下聯吟會期日。擬于十月中旬。古曆九月初開催兩日。該社爲適滿十五週年。聯吟會翌日。兼開紀念。以作諸吟友招待會。議至午後三時終了。乃鬥擊缽吟會。首唱題擬端午雨七絕支韻。次唱詩題海水浴美人。詠格。同五時交卷錄呈詞宗選取左右各十名發表後並開吟宴懇親。盡歡至午後七時餘而散。

鬧旗亭受警官說諭
各持凶器謀欲報復
幸警官如廁及樓主他出

臺中州員林郡二水庄過圳人。謝徐齊（通俗清忍）年二十二。又北斗郡二林。楊九瓦之螟蛉子楊圭。（通稱傳仔）年二十。彰化郡鹿港街新興人。黃石之長男。黃天賜。（通稱川仔）年二十五。北斗郡二林庄二林人。楊氏妹。同居人林順。年十八。二林庄二林人洪萬富（通稱阿香）年十八。外一名。去十八日午前一時頃。共登二林天華園旗亭。爲細故就毆打酌婦。該樓急將情報於二林分室。是夜當直巡查黃敏接報。急往現場制止。一行含恨在心。意欲報復。於同二時。或執尺餘長刀。或執鐵鋸。同到二林分室。欲襲擊黃巡查。適黃巡查如廁不在。不達目的。旋再到天華閣。欲襲擊樓主洪門。亦値外出。二林分室接急報。立召集內外勤巡查。及管內警所總動員。張非常網。是夜十一時頃檢舉其黨員一名。越日起分頭努力搜查犯人。至去二十三日早。在郡下大城庄下海墘。逮捕林順。洪春萬兩人。同午後一時頃於彰化郡和美庄埤子頭。逮捕謝徐齊。現留置取調中。餘黨諒近日中。亦能到案云。

基隆畜產內訌
出報復手段

基隆市資瀨畜產會社。日前發覺某幹部不正事件。受基隆署刑事係。嚴重查究。致林主間。異常騷動而會社一遂。以爲該事件之發覺。必出于某集金人之密告。者番爲報復手段對其除署。告訴某集金人橫領二百餘圓。現由松野警部補查究中云。

視察國語講習

東石郡獸醫上住圭介。同朴子公訓導新津信次兩氏及歐內組合長若記一行。去二十四日。由十六部喜村視學。及伊藤獸醫東道視察十六部林內北保國語講習所。又十六部當局。爲使歐內組合及市場小商人習得國語起見。近擬開國語講習會云。

水泳池上流
癩病患者
浣衣其間

花蓮港街衞生當局。去二十五日。卽癩病豫防日。偵知街營水泳池上流。每日有一癩病患者。在溪岸浣衣。撒布病毒。卽派松本警察醫。暨諸係員。趕到現場查究。乃知該人。爲本島婦女。住在平野區軍威六番地。似罹神經性癩病。因使該女。于是日下午。到寄萊醫院。檢查血液。一面水泳池。卽由街當局。禁止使用。而花蓮港小學校。去二十五日上午。因未知該事。猶引率兒童。在該池游泳云。

臺北軟式庭球
爭霸戰先聲

臺灣體協臺北支部。軟式庭球乙組爭霸戰。訂來二十七日午後一時。及二十八日午前九時。兩次開于臺北州廳球庭。參加團體爲鐵道。北郵。殖產。稻星遞信。炭戊。陽星會。及專賣諸團云。

司法書士
詐欺橫領被拘

員林郡員林街司法書士廖某。年三十五。月二十三日午前中。在其自宅代書事務所執務中。突有大屯郡北河警部。偕數名刑事到其宅。將廖某檢擧。卽以貸自動車。載往大屯郡警察課。現留置取調中。事件雖附祕密。據密聞所傳。廖自昨年來。在其大屯郡西屯庄本居地。利用其身爲司法書士。對其同姓公業土地之處分。詐欺橫領四、五甲土地。以其妻名義。登記完了。近被關係者。向大屯郡。提出告訴。

溺死兩誌

▲嘉義郡中埔庄社口五四四方耀明。年二十三。去十三日端午日。午後五時與友六名。在八掌溪游泳時。誤陷入二丈深處溺死。
▲同小梅庄科子林一二三許字宗。年十八。去二十四日午前十一時。在同所部落前埤溪游泳。誤入深處溺死。

犯放火罪
求刑懲役六年

鹿兒島縣人。加納彌次。年五十二。嗜酒如命。猶好任俠使氣。昭和八年。由臺南刑務所釋出後。則被雇於臺南市栢盤後元小衣雨夫球場。鈴木氏家爲雜役。訂四月二十二日。因貪食飼作。被鈴木氏妻所責。竟怒而他出。飲得酩酊。乃潛歸鈴木氏邸。以石油於炊事場前放火。後被發見。不致釀成大事。加納遂以縱火罪入獄。去二十四日朝九時。在臺南地方法院刑事合議部。由波多野裁判長主審。岡西昌兩判官陪席。松尾檢察官判定來月一日云。求刑懲役六年。宣

司法警察事務刷新
臺灣亦將著實實施
山本督府法務課長談

山本督府法務課長。去二十五日午後。歸自內地。據云出張要務。議會終了後。曾於出席地方長官會議。而此次之會議。乃標榜改一新之現內閣初次會議。故就各協議事項。熱心開陳意見。平生所事務上。多所裨益。我如……之保持。司法官之心構。强力訓示。司法警察事務之刷新改善。及其指導。司法省自此次大舉。勿論臺灣亦局必要踏係小規模。各檢察局。利用種々機會而行。來年度外地司法部。一齊計上之豫算。若本豫算通過。……法官吉于事務過重。以後法院支部。亦曾聞之。司所傳之噴宜。甚屬希設置善。內局事實。然不至如內地有倡司法部內待遇改家充分。幸勿有此誤解。部本島人。有爲財產被國方法。亦當見整調。然一財產上紛議一掃。而管理查。次行制定立案。由是于本年度中。爲之準備調殊爲可喜。近且設委員會公業所關豫算。亦經通過年多年懸案之本島人祭祀

會事

▲宜蘭街北星俱樂部。自多成十月發會以來。會員日增。去二十四日午後七時半。在廟宇秋開氏別室。開月例會。席上會長邱有才氏。敍開會辭後。副會長江榮元氏。介紹新入會員。宜蘭測候所鄭進木氏外三名。繼即移人議事。至鐘鳴十下始散。來期月例會。豫定于月二十一日云。
▲大溪街大溪信用購買販賣利用組合。豫於市場邊。改築事務所。及附屬農庫。其後工事豫行落成式。並開第三回臨時總會。訂來二十七日午後二時關於事項。一、理事報告。二、定款第五條組合任事務所變更。三、對組合員付金最高限度變更。四、理事補缺等件。招待官民。其他關係者。及組合員六百餘名云。

人事

▲基隆市柯篤慶氏之嚴堂。去二十五日午後三時。於特設祭場。既告別式。參列者三百餘名。臺北市李稱玉。柯秋潔外數氏。亦遠來會葬。又於新竹永氏。亦於同午前九時。於自宅前。舉告別式。會葬者內地人二百餘名。扇子商會。合與寬爲旭町壯丁團長。賽參委員。亦多數會葬云。

臺南
實業總會

臺南實業協和會。爲期中小商工業者之資金。運轉上之圓滑新設事業部。勸誘會員。既得百五十名之加入。計二百二十五口前者會之幹部。訪問關係金融機關。商請融通。既得允諾。將現募入同截止。定七月三日在市公會堂。開臨時總會。議新設事業部。今後所採方針興進行事云。

渡華視察

新化郡下小公學校長。今回欲視察南華各地教育狀況。組織一學事視察團。定來二十八日。搭共同丸之香港船出華。一行小公學校長十一名。由作佐視學引率。行程約二週期云。

蔗作品評

新化郡。定來二十七日午十時。於郡衙會議室。行第三回蔗作向上品評會授賞授與式。而郡下郡今回爲指導各部落之蔗作殖。特計畫倡開共同耕作甘蔗品評會。由各製糖所後援之下擬大規模進行。其參加品評者。由各協指導員協議決定云。

七夕連作 （118） いたづら狸の巻 島田啓三

商況 廿六日

米況
（東京市況前場・大阪期米前場・東京期米前場・神戶期米前場・大阪短期前場）

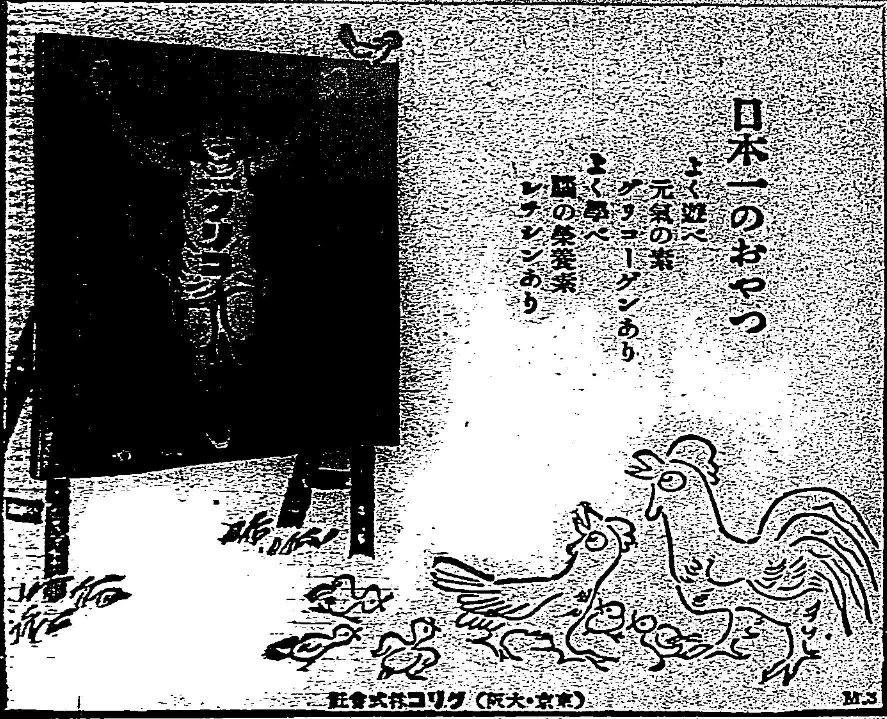
株式
（東京短期前場・大阪短期前場・東京銀行業券）

公債
（東京國債前場・外國爲替相場・神戶對外爲替）

肥料
（シカゴ小麥・神戶豆粕・玖瑰・爪哇糖・大阪現物・大阪濟期・大阪綿絲・大阪綿花・大阪人絹・橫濱生絲）

廣告
官幣御鎭座 大阪 柯 [illegible]

臺灣日日新報



ケンキに大王ン 病氣はなほり健康はまする
カグワ三(八円) 大阪天王寺 大王商會

改造社

- この人を見よ
- 伊太利物語
- 中産階級史
- 宗教科學鬪爭史
- 惜みなく愛は奪ふ 有島武郎著
- 野性の呼聲 ジャック・ロンドン著
- 牧水歌集 若山牧水著
- 青牛集 吉井勇著

發行所 東京市芝區新橋七 振替東京八四〇二 改造社

七月號 特別五十首短歌十一篇
- 文藝としての歌論
- 萬葉集の歌
- 詩と歌の關係に就いて
- 古びたる歌人
- 人間性を表現したる歌人
- 門外漢の感想
- 短歌と詩歌の未來
- 日本詩歌の未來
- 作品批評

特別募集作品當選發表

七月特別號

文藝春秋

- 生か死か七月閣議 城南隱士
- 官僚政治に迫る 一鳩山一郎
- 議會鬪爭錄 片山哲
- ◇今議會の成果
- 法案の批判
- 日本を荒らすスパイ群 御手洗辰雄
- 不穩文書法案 阿部眞之助
- 支那を語る會 吉岡文六
- 北支政權論 稻原勝治
- リースロスといふ男
- 帝國美術院の崩壞 本二九郎
- 帝展の改組に就いて
- 伯林大會危し 大口喜六
- 武將と刀劍
- 對山隨想
- 名所と古句
- 私の夢の傑作
- 友松圓諦の剽竊事件 岡邦雄
- 性的犯罪論 淺田一
- ドーバーを越えて 横光利一
- 弟子河上肇 登張竹風
- 揚子江生活のユーモア 三上射鹿
- 平服軍人論 山浦貫一
- 資本家の政治工作
- 戰爭に對する考察
- 青年官吏は社員は何を考へてゐるか座談會
- 紀州今昔物語
- 若葉にそゝぐ雨
- 成瀨正一君の思ひ出
- 隅田川の船遊び
- 未來の日本拳鬪
- 次高山登攀
- 小千鳥の話
- 朝日内紛の眞相
- ラヂオの利率十割
- 文藝時評
- 創作 坂田の場合
- 石を誰が聞く
- 隨筆

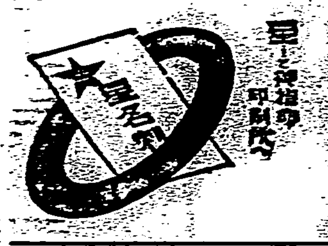
近衛文麿公 閑談會
【出席者】近衛文麿 近衛秀麿 山本有三 久米正雄 菊池寛

- 東京出版協會 新刊月報 重版 圖書案内 內外書房
- 報德要典
- 二宮翁夜話 田中諭一郎著
- 園藝植物繁殖法 上 明文堂
- 園藝植物繁殖法 下 田中諭一郎著
- 國立音樂 篠崎弘嗣著
- 三味線やさしい樂譜奏法 法木書店
- 書家自在 梅辻春樵先生閲 辰文館
- 新道高章著
- 圖入 新劍舞の解説と指導 桑文社
- 皇漢名詩の吟じ方 木村岳風編著
- 農業土木工學 井村實 裳華房
- 結婚準備 遺傳の智識 渡邊精一著 東苑書房
- 花嫁・花婿の學校
- 教育に關する勅語の本義 清水澄先生序
- 理論化學實驗法 松野吉松著 山海堂出版部
- 理論實驗 物理學講義 高田德佐著 大日本圖書
- 最近驚異的發展

明治コナミルク(赤罐)
伸びよ 賢くすこやかに!

明治製菓株式會社

ベオリン尺八



明るい印刷
明るい名刺
精美堂

改正臺北市全圖
定價金壹圓
臺灣日日新報社

教學の刷新と臺灣の現狀
初等教育の振興が其の基本

砂糖稅制改革案 通常議會に提出
糖聯側の私案も成り 協力して實現を期す

發券權の統一 實現性が濃厚
成り行き注目さる

影響は調査
嶺田財務局長談
疑念はある 荒木理事の談

……を承認はる荒木理事は本問題に就き次の如く語つた
……の樹てる國策として決定されるものなら、強いて反對するわけにもゆくまいが、臺灣の產業開發のため敢て統一すること……策かどうか、時機を得てゐるかには疑念なきを得ない、自……の銀行の利害問題でもあるの……問題に吹聽することは遠慮し……

時期尙早だ
木村商工會副會長談

擁護法の發動で 濠洲の苦痛甚大
牧羊業者猛烈に政府を非難 特別議會召集を要求

【東京二十六日發】對濠通商擁護法の發動に依つて示された我方の斷乎たる方針は漸く濠洲側に苦痛を與へつつあり殊に目下濠洲各地に開催中の羊毛競賣に對する日本側の不買實行と今後に對する羊毛許可制の實施とは市場を混亂せしめ早くも羊毛値下りを來し濠洲牧羊業者に非常なる不安を與へてゐる、その結果廿六日外務省著村井總領事よりの報告に依れば全濠牧羊業者發議會長ケリー、牧羊者組合聯合會會長ボイド兩氏は廿三日ステートメントを發表し日本羊毛市場の喪失は濠洲產業の死活問題なりと猛烈に政府を非難し特別議會の召集を要求した

友好關係の復舊 ラ首相が切望す

【キヤンベラ廿五日發同盟】……政府は廿五日……通商擁護法を發動し對濠報復の擧に出たが右に關する公電に二十五日濠洲政府にも到達したのでライオンス首相は直ちにラヂオ演說を行ひ……

情報委員會愈よ 七月一日官制公布
委員長は內閣書記官長

兩調査會官制要綱 きのふ閣議で決定
上奏御裁可を經て公布

官制要綱

外務機構改革漸やく成案
政務總局を新設 在外公館を增設

きのふの三相會議

海軍省諸官制一部を改正
七月一日より施行

廣田首相參內

都市防空施設の緊要性を强調
辻少將懸河の辯

鹽澤司令官に官記を傳達

川越大使の國書捧呈式
七月二日に決定

英國皇帝壽府へ
英、佛外相等と同一列車て

駐支英大使にヒ氏

綏蒙軍下車 廣西軍に合流

閣議決定人事

鹿田大溪郡守辭表提出

人事

本日夕刊共十六頁

シナチク

大阪商船株式會社

近海郵船

大阪商船

ハイキングに…先づカメラの準備を
一般寫眞機器材料
二宮寫眞機店

村井商行中元 壹割引大賣出發表
本日より七月十五日迄 全商品一割引提供致します 但し酒、煙草を除く

臺北 村井商行

新發賣 タカサゴ黑ビール 生黑ビール

經濟時事解說

「濠洲に對抗して」通商擁護の切札【上】

日濠通商紛爭の今後はどうなる
輸入七、輸出三の片貿易の現狀

濠洲側の挑戰に對してついに日本は最後の切札たる「通商擁護法の發動」といふ伝家の寶刀を拔くことゝなつた。然し一面に於ては……

昨年中濠洲からの輸入總額は、羊毛一億八千二百萬圓、小麥五百六十萬圓……その合計は一億二千二百七十萬圓……

濠洲への輸出額は、人絹布二千二百八十萬圓、綿布二千七百二十萬圓……

大阪商船の京濱臺灣直航線

七月から月二回の定期に
使用船は廣通丸と廣安丸

大阪商船では從來關西から臺灣への直航船はあつたが京濱臺灣間の直航船がなかつたので……七月から廣通丸と廣安丸の二隻で月二回の京濱臺灣直航定期航路を開始することゝなつた。使用船の寄港地及各地出帆日取は次の通りである

神戸豆粕市況
受渡懸念さる

麻袋の共販と臺南製麻の去就
加藤にも關心を持つ共販

内地の茶業界
直接販賣で抗爭激化
中間商人は上つたり

阪神臺灣青果
廿三日揚雑相場

出廻茶で倉庫は一杯
來月上旬各行共一齊開業か

獨逸の石炭液化 年二十萬噸に達す
今後二年にして自給自足の豫定

大阪府が新たに株式移轉税
名義書替人又は買收者へ課税さる

米穀局外地課長來臺

米庫組合聯合會緊急理事會

花蓮港の買蔗價格
水田奬勵を展して特に早植を奬勵

三井の岡田支店長代理轉任

上期各社總會

洋モス八分

東洋毛糸一割

東洋レーヨン

日本製粉一割

鴻池信託五分

日本毛織一割二分

臺北組合銀行週報

商況（廿六日）

臺中米價

臺米現物相場

臺北米肥

基隆在庄米

高雄在庄米

正米市況相場

島内肥料相場

大阪短期米後場

東京期米後場

神戸期米後場

堂島兩建控除價格

堂島前場先限主な

堂島前場先限兩建控除主なる手振

堂島米況前場

堂島米況後場

堂島雜觀

大阪短期後場（株式）

大阪長期後場

東京短期後場

東京長期後場

東京株式前場

大株雜觀

絲況　大阪綿絲　大阪棉花　大阪人絹　横濱生絲

砂糖　大阪清算

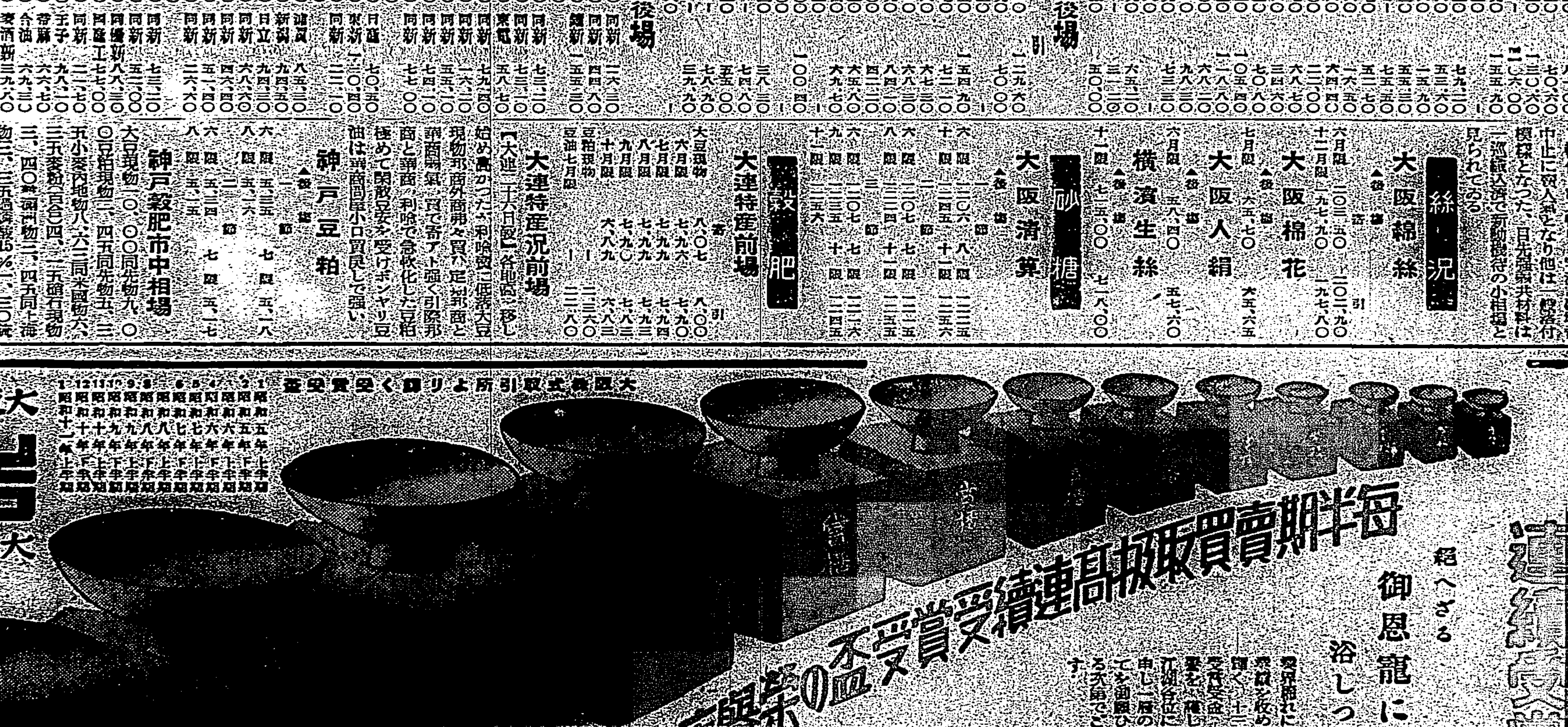
豆粕　大連特産前場　神戸豆粕

大連特産況前場

神戸鯗肥市中相場

爲替　對外爲替建値

銀塊　大連錢鈔票前場



大阪株式取引所長期實物取引員
岩本房吉商店
大阪市東區北濱二取引所正門前